

本稿は、バークレイズ・ピーエルシー(Barclays PLC)及びバークレイズ・バンク・ピーエルシー(Barclays Bank PLC)が2012年10月15日に発表した英文対外発表文の日本語訳です。その正確な内容については、原文である英文リリースをご参照ください。本稿と英文リリースとの間で齟齬がある場合には英文リリースが優先します。原文は <http://group.barclays.com/news/news-article/1329926580501> よりご覧いただけます。

2012年10月16日

**バークレイズ・ピーエルシー、
ティム・ブリードン(Tim Breedon)氏を業務執行権のない取締役役に任命**

バークレイズ・ピーエルシー及びバークレイズ・バンク・ピーエルシー(以下「バークレイズ」)は、ティム・ブリードン氏が2012年11月1日付でバークレイズの業務執行権のない取締役役に就任することを発表しました。

ティム・ブリードン氏はリーガル&ゼネラル・ピーエルシーのグループ最高経営責任者を務めていましたが、2012年6月30日付で同職並びに同社取締役役を退任しました。なお、主にソルベンシーII関連の責務に伴い、2012年12月31日までは顧問として引き続き同社に在籍します。ブリードン氏は1987年、リーガル&ゼネラルに入社以降、数々の職責を経て、2002年1月にグループ取締役(投資担当)、2006年1月にはグループ最高責任者に就任しました。

ブリードン氏は2007年から英国保険協会(ABI)理事を務め、2010年7月から2012年7月まで会長を務めていました。また、英国政府が設置した業界主導のノンバンク貸出作業部会の委員長として、英国のオルタナティブ債券市場の発展の障害となっている構造・慣行問題に関する調査に従事し、2012年3月に調査結果と勧告を盛り込んだ報告書をまとめました。さらに、投資管理協会、財務報告審議会等で要職を歴任しています。

バークレイズ・グループ次期会長であるサー・デビッド・ウォーカーは次のように述べています。「バークレイズがティム・ブリードン氏を業務執行権のない取締役役として迎え入れることが決まり、大変喜ばしく思っております。ブリードン氏は金融サービス、規制、お客様第一主義の観点から、氏が培った幅広い知識と経験をバークレイズ取締役会にもたらしてくれると期待しています」。

英金融サービス機構の上場規則LR9.6.13R項に基づき開示が求められる情報は以上です。

本件に関するお問い合わせ先:

Investor Relations
Charlie Rozes
+44 (0) 20 7116 5752

Media Relations
Giles Croot
+44 (0) 20 7116 6132

バークレイズについて:

バークレイズは、リテール・バンキング、クレジットカード、コーポレート・バンキング、投資銀行業務及びウェルズ・マネジメントを手掛ける国際的な大手金融サービス提供機関です。300年の歴史と銀行業務のノウハウを有しており、50カ国以上で事業を展開、140,000名以上の従業員を擁しています。世界各地の顧客および取引先のために、資金の移動、貸付、投資および保護を行っています。詳細につきましてはウェブサイトをご参照ください。(www.barclays.com)